



2010  
**3**  
March



●特集

当別町 140 年特別企画 第 3 話  
**太美市街の今昔物語**

あそ雪の広場 (2月13～14日) 詳細は 6ページ



# 当別 TOBETSU 140 年の歴史

## 蘇る その3

開拓 60 年から 140 年  
(昭和初期～現代)

ついに戦争突入。  
農家の働き手も次々と戦場に。



出征の様子

### ■ 2,100 人が出征

昭和 16 年 (1941)、日本はついに太平洋戦争に突入、「ほしがりません勝つまでは」の合言葉のように耐乏生活を強いられるようになりました。働ける男子には召集令状が届き、当別村からは 2,100 人が出征し 271 人が帰らぬ人となりました。また、国民徴用令により年老いた人までも工場や炭鉱での奉仕作業に駆り出され、村内には荒れた田畑が目立ってきます。化学肥料も、火薬の原料となり、魚肥や豆かすも手に入らなくなったため、農作物の収穫は激減したのです。

やがて昭和 20 年の終戦を迎え、新しい時代を迎えます。食料不足は深刻でしたが、村人たちは自宅の庭の隅や鉄道用地、道路、河川敷にいたるまで畑を作り、自活用の食糧確保に努めました。生活必需品は極端に少なく、昭和 21 年にはインフレで物価は一気に 7 倍まで膨れたといえます。

### ■ 当別町の誕生と戦後の復興

戦後、戦災者や外地からの引揚者が入村し、村の人口は一気に増えていきます。村では奥地の開発を進め、新しい食料基地づくりを目指します。戦時中に取り

り払われていた当別以北の札沼線レールも沿線住民の強い要望によって、昭和 21 年 12 月から当別～浦臼の営業が再開され、人々の往来や物流が復興していきます。同年 8 月、村会の議決を経て、北海道長官に町制施行の申請を行っています。当時の戸数は 2,588 戸、人口は 1 万 5,209 人でした。

そして翌昭和 22 年 7 月 1 日、村から当別町に昇格しました。開拓の先人達がこの地を永住の地と決めてから 77 年目のことです。

戦後の民主化で学校教育は一変しました。それまでの国民学校は小学校と改称、中学校が義務教育となり、昭和 22 年 5 月 1 日に全国一斉に開校となりますが、教科書、教室、教員不足のため予定通り開校できたのは当別、弁華別の 2 校だけでした。

昭和 24 年 (1949)、当別高校が道立江別高等学校の定時制当別分校として開校、独立校舎もなかったために当別小学校の 1 教室で授業を行いました。その後、道立札幌西高等学校当別分校に変更、34 年に現在の場所に校舎が新築され、36 年には定時制併設の全日制高校 (町立) となり、39 年に道立当別高等学校となりました。

# 田園と学園を持つ 新しい都市近郊のまちへ。

## ■農協の誕生

終戦を機に農業を取り巻く環境も一変し、農村民主化の一環として当別町農協、西当別農協の2組合が昭和23年に設立されました。

昭和38年に青山ダムが建設され、水田用水の確保が容易になり、篠津原野開発事業が本格化して未

開地も水田化が進み、札幌圏の穀倉地帯として昭和43年(1968)には耕地面積の90%、6,500haに達しています。



昭和25年当別駅前落成の中央配給所(購買店舗と会議室)

## ■開基100年とその後の発展

昭和45年、当別町は開基100年を迎えました。記念式典は7,000名が参加、記念講演会、当別音頭の踊り、花火大会で祝ったほか、役場庁舎・消防庁舎の改築、当別町開拓郷土館・当別町青少年会館が次々と建設されました。

昭和50年10月には金沢に東日本学園大学(現北海道医療大学)が開学し薬学部、歯学部と、さらに付属病院も開院し、札幌に隣接した学園都市として新たな魅力を加えることになりました。

都市計画事業が進められ、昭和60年から下水道事業が始まるなど、近代都市としての社会資本整備が進んだのもこの頃です。



完成まじかの札幌大橋(S62)

## 参考文献

当別町史(1972年)

新とうべつ物語「写真でつづる120年」(1991年)

当別町農協史(1970年)

本町の開拓の節目を迎える今年、広報では特集を組んで、過去の歴史や市街地や地域の今昔、人々の生活などをお伝えしています。

青山など地域別に情報を集めています。当別町の歴史に関する古い写真やエピソードをお持ちの方は是非ご連絡下さい。

■情報課広報広聴係 ☎23-3069

昭和30年代の手植えによる田植風景



当別町開基100年での当別音頭(S45)



「道民の森」は昭和60年の「国際森林年」を記念する事業として当別町に誘致が決定し、道有林1万1,000haの森を活用したレクリエーション施設が完成。また、高岡の丘陵地には気候風土が似ている北欧スウェーデン王国との交流拠点、「スウェーデン交流センター」がオープンし、スウェーデンヒルズの造成も始まります。これを契機としてレクサンド市との姉妹都市提携を行い、国際交流の町として知られるようになります。昭和63年には念願の札幌大橋が完成し、太美地区を中心に住宅団地の造成が進み、平成8年には人口2万人を突破しました。

# 当別町 140 年特別企画

## 第3話 太美市街の今昔物語



### ① 太美のまちはいつできたか？

下の写真は「当別太のあゆみ」に収録されている大正末から昭和初期頃の図です。明治26年の殖民区画設定に基づき、16線、19線、基線、南3号の道路及び排水が開削されますが、現在のスウェーデン大通(17線)は道路としてほとんど使用されておらず、

獅子内山までの間は民家が1軒しかなかったといえます。

太美の町並みは駅の開設(昭和9年)からで、住民のほか、石狩、厚田方面の人々は、札幌の中心まで鉄道1本で直結する太美に往来するようになりました。この中には魚や反物、薬売りなどの行商人も多く、列車は1日2往復あり、駅前に待合所を兼ねた1軒の旅

館が登場します。

秋吉スワさんは秋吉旅館を営み、太美定住の第1号とも言われています。物流が始まったことにより、貨物を取り扱う太美運送社が設立され、10名の国鉄職員、当別太にあった駐在所や美登江郵便局が駅前に移転し、無人だった駅前は活気を帯びた市街地へと変貌していきます。

札沼線開通以前の当別太地区 (大正末から昭和10年頃)



**鉄道の敷設は市街地を形成した**  
物流の拠点として人の流れは駅前に集まった

昭和10年頃の16線道路

昭和9年の札沼線開通前は16線南3号付近が中心地のようにあった。



昭和35年頃の太美郵便局前

太美郵便局は昭和9年の札沼線開通後、現在の太美歯科クリニックの道路向いにあった。

### ② 「太美」地名考

アイヌ語由来の地名が多い中であって太美はこの地に移り住んだ人々がつけた和名で、西当別地区に古くからあり、公共的に協同することが多かった「当別太」と「美登江」の一文字を合成したものです。この呼称がはじめて使用されたのは明治29年に設立され

た「太美青年会」が最初といわれ「太美尋常高等小学校」など両部落の総称として、あるいは協同体を意味する名称として使われていました。昭和9年に完成した「石狩太美駅」も、この例にならったもので、町名としては昭和27年7月1日、当別太部落区域から正式に分離独立し「太美」と公称されるようになりました。

### ③ 港もあった当別太

明治14年(1881)月形村に樺戸集治監(現月形刑務所)が開庁後、石狩、月形間の船の運航が盛んになりました。当時、蒸気機関で動く外輪船「上川丸(62t、速力8ノット、収容人数60名、昭和10年まで活躍)」「空知丸」などが運行され、その船着場が16線先の旧石狩川縁にありました。石狩川汽船会社が隔日で荷物の運送や、旅客も運び、亜麻会社も自家用船を運行す



石狩川船着場での上川丸

るなど水運が発達しました。しかし、江別の石狩大橋の架設(大正9年)や札沼線の開通など交通手段にも変化が生じ、石狩川の水運は消えていきます。

#### 参考文献

太美町発祥50周年記念誌(1985年)  
当別太のあゆみ(1982年)

#### ■ 情報課広報広聴係

☎ 23 - 3069



## 太美の風物詩は煙突？

「鉄は国家なり！」鉄を製造するための材料  
コークスの工場が太美にあった



石田コークス工場(昭和15~29年)

深夜、煙突から出る粉火は花火のようであった。  
夏の作業は過酷で、工場には風呂も備えていた。  
(現在の太美銘泉付近から南2号踏切方面を撮影)

戦時中、大量の鉄を製造するために、鉄鉱石、石炭、コークスは重要な戦略物資でした。石狩太美駅と南2号線に囲まれた駅裏の三角地に昭和15年、石田コークス工場が設立されました。コークスは、原料の粉炭が上砂川方面から貨車で運ばれ、駅裏に山

積みされ、工場専用のトロッコで窯まで運び、熱せられた窯の中で一晩ムシ焼きにされて完成します。

製品となったコークスは川崎製鉄所へ貨車で運ばれました。従業員は多い時には50名ほど雇用していましたが、戦後、外国から良質な石炭が輸入されると昭和29年、工場は閉鎖されました。工場の大きな総レンガ造りの煙突は昭和50年頃まで残されており、太美のシンボルでもありました。

### インタビュー

左から 山崎与一さん  
宮本忠義さん  
島田春雄さん



**山崎さん** 「戦後、太美駅で働いていました。駅西側の元セブンイレブンのところに国鉄官舎が17戸あり、ここにはコークス工場の粉炭が降ってきていつもざらざらしてましたよ。」

**島田さん** 「その頃は駅前通(17線)はぬかるみが多く、ひっくり返っている馬車をよく見かけました。駐在

所へ行くにも板を渡してその上を歩きました。」

**宮本さん** 「17線は湿地で農業にも適していなく、5人の地主がその空いていた土地に駅を誘致したと聞いています。駅ができてからは、

地域の有志が馬橋組合ばそりを設立し、特に冬は馬橋を使った輸送が盛んに行われていました。厚田の浜などで上がったニシンが多かったように思います。」

**山崎さん** 「戦後17線の南1号沿いに、骨粉工場があり、ニカワ(接着剤)を生産していました。その煙突が太美で一番大きかった。戦後の一時期は製油工場、澱粉工場、製縄工場などの工場が建ち、起業家もたくさん集まって太美の街が発展してきたんです。」

## 当別町人材育成基金 「高校生短期留学 ホームステイ語学研修事業」

町では、自ら考え自ら行う地域づくり事業として、当別町人材育成基金を設け、当別町のまちづくりを担う人材を育成しています。

この事業の一環として、2名の高校生が昨年12月21日から1月3日までの14日間アメリカ合衆国カリフォルニア州に短期留学しました。

鎌田万里奈さん 国際情報高校1年生  
日光 麻依さん 国際情報高校1年生

2名は、ロサンゼルス郊外にホームステイし、地元の学校に通いながら現地の文化や生活習慣に触れ、生きた英語を学びました。

「日本に帰りたくないと思うくらい、楽しく充実した14日間を過ごした。」「本場の英語になれ、コミュニケーション能力が身についたと感じた。この経験を活かして、身近な国際交流事業に参加して行きたい。」と2人から感想がありました。

次回の募集は、今年の秋頃の予定です。

▼担当 企画課企画振興係 (☎ 23 - 3042)



日光さん ホストファミリーと一緒に



鎌田さんと日光さん ハリウッドで記念写真

## あそ雪の広場

2月13・14日

天候に恵まれ、大盛況！



第28回あそ雪の広場が開催され延べ1万人の参加者が冬のイベントを楽しみました。

両日とも天候に恵まれ、大雪像も滑り台のコンディションも良く、開場と同時に140フィート(42m)のチューブの滑り台には子どもたちの列ができました。

夜の花火大会には当別町の140年を祝う「祝140年」の文字が浮かび上がり、これまでよりもスケールの大きな打ち上げ花火の音が町中にこだましました。

冬の花火は「あそ雪の広場」が道内で最も早く実施したイベントで、花火の一瞬の明るさが、雪原に反射して幻想的な雰囲気を作り出します。冷え込んだものの風も無く、絶好のコンディションの中、参加者は冬の夜空を楽しみました。



商工会女性部によるいもだんご汁の差し入れ (2/10)

# シリーズ 当別この逸品 その7

町内のこだわりの味をレポートします



にじのジャムをつかったゼリー

## にじのジャム レインボークラブ

かくれた当別の味になりつつある  
にんじんジャムその誕生秘話…



虹のジャムを製品化し、太美で活動している  
レインボークラブ副代表の 鈴木礼子さん

- 当別産「にんじん」を活かしたジャム -  
副代表の鈴木礼子さんに聞いてみました。

**当別の特産**って何だろうと引っ越してきてからご近所の方や農家の方とお話しているうちにたくさんの仲間ができ、近所の5家族10人が集まって平成15年8月にレインボークラブをつくりました。こんなに当別の農産品っておいしいのに、地元の方は「これだ!」というのを持っていないんですね。私たちは消費者の立場ですけれど、生産から加工、販売まで関わってみたいと思っていたそんな時、近くの畑でニンジンがたくさん取れているのを見たんです。ニンジンの産地だということはその時に知りました。

**ニン**ジンが大好きな人ってほとんどいませんね。でも子どもたちには是非食べてもらいたい食品です。友人が電子レンジを使ってジャムにしたところ、とてもいい色に仕上がりに、これであれば子どもたちも大丈夫。ジャムは熱を通していますし衛生上も気軽に取り組める加工品です。しかしレンジでは大量に作るができなかつたり、添加物を入れないで日持ちを良くするために、毎日りんごやレモンを

加える実験を繰り返し、ようやく甘すぎないなめらかな味を出しました。ネーミングは「ニンジン」のイメージを払拭しようと「ン」の字を削ると「ニジ」になります。だから虹（ニジ）のジャム。

**農家**の方って味のプロですね。ニンジンジャム試作のあと、紫ニンジンを作るけれど、ジャムにならないか?、コリンキー（かぼちゃ）も使えないかと、持ってこられたんですよ。農家の方の協力って無限の可能性が有りますね。紫ニンジンはアントシアニンが多く含まれ、コリンキーはピザやパイ生地にも相性が良さそうと、今では3種類のジャムに発展しました。これから春先にかけて、甘さや栄養をため込んだ越冬ニンジンを使っておいしいジャムができるんですよ。

▼問合せ レインボークラブ 板垣紀美子  
(スターライト 1509・☎ 26 - 4298)  
販売は「ふれあい倉庫」「つじの蔵」「HUG マート」  
ニンジン、紫ニンジン、コリンキーの3種、1瓶 300円

防災の取組みが全国でも話題に！



弁華別中学校 2年生の生徒の皆さん

昨年12月30日付け毎日新聞(全国版)に  
弁華別中学校(全校生徒23人)での防災の  
取組みが紹介されました。

## 弁華別 Benkebetsu Junior High School 中学校



### “いざ”に備えた取組み

**学校**や地域で取り組む防災教育・活動を顕彰する「ぼうさい甲子園」(毎日新聞社、兵庫県など主催)に初めて応募したところ、入賞こそ逃しましたが、特にユニークな取組みとして紹介(全国から4校)されました。弁華別の近くには地震の原因となる活断層(当別断層)があることが分っており、高橋校長先生は「災害時、自分の命は自分で守る。その上で他人のため、手をさしのべられる人間になってほしい」と、防災は学校や地域としての重要な取組みとして、その認識も高いようです。

**そこで** 弁華別中学校では、3年前より役場、地元の航空自衛隊、消防署の協力を得ながら、応急処置や救命法を体験したり、緊急避難場所

である体育館での合宿を兼ねた訓練を行ってきました。その中で身近なものを使った担架の製作や、仮設トイレの利用、ビニール袋を使った骨折の応急処置、更には総合学習で育てた野菜を使ったカレーライスの炊き出しなど、実際に想定される様々な訓練を実施したのです。今年度は、全校生徒が参加して災害の図上訓練(DIG)を実施。地域にある橋や道路が寸断されたときの対処などをみんなで話し合いました。

### 訓練を受けての生徒の感想は……

「**担架**の作り方はとても勉強になった。あるものを利用して簡単に作ることもできる。」

「**災害**は起きないと思っ  
てたけど、実際に起きた時は冷静に行動しなければ

ならないと思いました。」

「**実際**に災害にあった時は混乱してしまうかもしれないけれど人工呼吸、AEDの使い方は人の命に関わること。しっかり学んでおきたい。」

「**防災**の意味が判っていたけど、図上演習でも火災時の風向きなど総合的に判断して行動しなければならぬことがわかりました。」

「**非常食**、とくに五目御飯は思ったよりおいしかった。普段から備蓄しておくことも大切。」

上記のように、生徒の皆さんにも防災に対する意識が芽生えたようです。地域密着型のこの取組みは、総合学習の時間が減少する中であっても、学校では今後も継続して実施していくこととしています。



## ■ ふれあい倉庫情報

### 【カルチャーホール】

#### 「当別町 140 年記念 父親を対象とした子育て講座 父子 de カメラマン」

当別写真同好会の会員がカメラの撮影ポイントなどを伝授します。町内で風景や人物などを撮影し、その後撮影した写真の講評会を行います。

▼日時 3月6日(土) 13時30分～16時(受付13時)

▼対象 幼児から中学生の児童生徒と父親(先着20組)

▼申込み・問合せ 町教委社会教育課  
(白樺コミュニティセンター内・☎23-2511)

### 「第8回当別歴史講座」(最終回)

▼日時 3月20日(土) 13時30分～

最終回は「ふるさと・当別の未来に何を残すか」をテーマに、これまでの提言者によるプレゼンテーションと参加者によるディスカッションでこれからの当別について考えます。

▼問合せ 町教委社会教育課(☎22-3834)

▼問合せ ふれあい倉庫(☎27-6600)  
商工課(☎23-3129)

## 4月上旬オープン 当別観光情報プラザ

当別町観光協会では、JR石狩太美駅に隣接する町の施設(旧太美出張所)を活用して「当別観光情報プラザ」を開設します。

このプラザは、本町の観光拠点として観光やイベント情報の収集や案内など、本町を訪れる方々へおもてなしができる場として、農産加工品など特産品のPR販売をする場や、町民の方が集える、展示できる、休憩できる場などとして準備を進めています。

詳しくは、チラシ・ポスター、4月広報・ホームページでお知らせします。

### ◆お寄せください

観光拠点準備室では、皆様からの情報をお待ちしています。当別の代表的な観光資源のほかに、特色のある場所や地域のイベント、多くの方へ発信したい情報などがありましたら、お寄せください。

▼連絡先 観光協会事務局(商工課内☎23-3129)  
準備室(プラザ内☎27-5388)

## 続 町長の日記

平成22年2月14日(日)

今年の冬の始まりは暖冬で異常な感じだったが、1月からは気温も低く雪が降り続いて当別の積雪量は今日で平年並みになった。

町内の住宅地の排雪を利用して今年も「あそ雪のひろば」に当別町の60以上の団体が協賛して延べ600人ぐらいの方がいろいろな雪像を作ってくれたが、中でもこの不況の中、数百万円も費やして今年も建設協会が造ってくれた雪像は当別開拓140年に因んで2連式で140フィートの大滑り台で町内外の沢山の子供達が楽しんでいた。

そして夕べは「140」という文字の仕掛け花火が浮かび上がった。

私は、当別の創世の先駆者の碑だけでなく全生命を当別開拓で終った牛や馬の忠魂碑まで、いろいろな開拓記念碑が建っているすぐ側の「あそ雪のひろば」の開会式で当別町140年と雪像に大きく刻まれたステージに立って感動のあまり、異常な大声で「この先50年、100年経った時、当別町140年の時を生きていた私達も又、この町を愛していたと言う確かな証しを残しましょう」と挨拶した。

あの時、事前に考えていた訳ではない言葉が出たのは、多分、記念碑の下で眠っておられる先人に応えなかったのだと思う。

今朝、出かける前に年輩の御婦人がお二人で我が家に来られた。大変珍しい方がどんな御用かと思ったら、聖バレンタインデーのチョコを持ってきて下さった。

今迄もバレンタインデーにチョコレート色々頂いたが、年上の方から頂いたのは初めての事だったから、大変恐縮してしまっただが、端無くも子供みたいに嬉しさを抑え切れなかった。

義理チョコとか夜の営業チョコとかユーモアと楽しいジョーク混じりの軽い感謝のプレゼントがほとんどだったのに、わざわざ遠くから雪道を歩いて来られた御婦人が、一息ついた後、ゆっくりと帰られる後姿は、まるでゴッホかミレーが描いた名画のように私の目に焼きついた。

折りしも、バンクーバーオリンピックが始まったばかりだが、オリンピックで金メダルを貰った選手でも、こんな気持ちは味わえないだろうと思った。この町には、なんて素敵な人が住んでおられるのだろう。

当別町長泉亭俊孝



◆ホームページアドレス <http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

◆公開日 3月30日(火)

### 「+ Life TOBETSU」ってなに？

+ Life TOBETSUは、町民の自主的・自発的活動の連携促進と活動支援を目的とした町民のための情報交流サイトです。町での生活をもっと豊かなものにするために、あなたも参加してみませんか。

### どんなことができるの？

- ①自らの地域活動を発信しよう！  
自らの活動する団体のPR、イベントの告知、参加者の募集ができるなど、交流の輪が広がります。
- ②当別をもっと知ろう！  
知られていない当別の魅力をもっと発信したいと考えている個人のブログをポータルサイトに登録して、より多くの人に発信することができます。
- ③当別自慢の特産品の販売・購入ができます  
農家など生産者は、丹精込めてつくった商品を販売することができます。消費者は生産者の顔が見える商品を安心して購入することができます。

### ▼ポータルサイト・講習会参加申込先

当別町町民活動支援システム運営協議会（役場情報課情報管理係内）☎ 23 - 3069/FAX23 - 3206  
E-mail [it-joho@town.tobetsu.hokkaido.jp](mailto:it-joho@town.tobetsu.hokkaido.jp)  
※町ホームページからも参加申請書をダウンロードできます。

### 会員になるとどうなるの？

ポータルサイトを使って情報を発信するには、利用会員登録のための申請をする必要があります。利用規約に同意し、別に定める条件を満たした団体・個人であれば、町内外を問わず誰でも申請することができます。利用規約や会員登録の条件は町ホームページをご覧ください。また、協議会事務局までお問い合わせ下さい。

また、会員登録には費用は一切かかりません。また、今後の利用規約の改定、変更などは事前に会員にご案内します。

### ■ブログなどの簡単な作成方法を指導します。

ホームページ・ブログ作成講習会等を3月24日～26日に開催します（申込みは左下まで）。詳細は左下の担当にお問い合わせいただくか町ホームページをご覧ください。

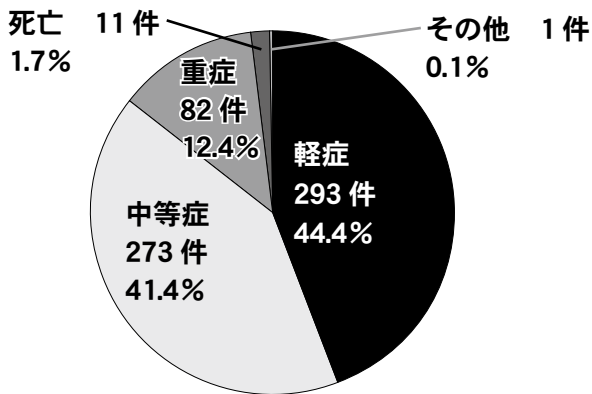


# 救急・火災の状況



## 救急

平成 21 年の救急搬送件数



**救急出動** 件数は 692 件（前年比 132 件減）、搬送した人は 660 人（前年比 90 人減）となりました。出動件数の内訳は病気などの「急病」が 413 件（約 6 割）、次に「交通事故」で 92 件、ケガなどの「一般負傷」で 89 件となっております。人口割では町民の約 29 人に 1 人が救急車を呼んだこととなります。

### 救命率アップのためにご協力を

昨年は、大幅な出動件数の減少となりましたが、それでも搬送者の約 44% が軽症者であり、救急搬送に占める軽症者の割合が高いのが現状です。

出動要請の中には「かすり傷などの軽いケガ」や「急を要する病気ではないが、どこの病院に行けばいいのかわからない」または「救急車で行けば早く診てもらえる」などの要請があり、救急車が緊急性のない人のために出動してしまい、1 分 1 秒でも早い手当を必要とする重症者のもとへの到着が遅れてしまうことが心配されます。

軽症の場合は、119 番をする前に、新聞や町広報誌などに掲載の救急当番病院を確認するか当別消防署の代表電話（☎ 23 - 2537）に電話をしていただくと、その日の救急当番病院を紹介します。今後とも、尊い生命を救うために、救急車の適正な利用にご理解とご協力をお願いします。

### 受講してください 普通救命講習

平成 21 年の救急出動のうち、救急隊が到着した時に心臓や呼吸が止まっていた件数は 31 件で、救急隊が到着するまでに家族などが心肺蘇生法（＝胸骨圧迫・人工呼吸）を行っていた件数は 8 件でした。心臓や呼吸が停止した方に救急車が到着するまでの間、胸骨圧迫や人工呼吸等の救命手当をすれば、命が助かる可能性が高くなります。

当別消防署では AED（自動体外式除細動器）を用いた心肺蘇生法や止血法などを習得できる普通救命講習を実施しています。適切な救命手当を身に付けるために、救命講習を受講しませんか。

▼日時 毎月第 4 日曜日 13 時～16 時

▼場所 当別消防署（錦町）

▼内容 心肺蘇生法・止血法など

◇一度受講した方は 2 年毎に再講習の受講をお勧めします。

◇各団体などグループで申し込む場合は、受講希望日に実施することもできます。

▼詳細 当別消防署救急救助課救急係（☎ 23 - 2537）

石狩北部地区消防事務組合 HP

<http://www.ishikari-hokubu119.jp/>

## 火災

昨年は、町内での火災が 13 件発生し、車両火災で 1 名の死者が出ました。損害額は、一昨年から 1 千 648 万 4 千円減少し、1 千 148 万 3 千円でした。大切な生命・財産を失わないよう、火気の取り扱いには十分注意しましょう。

### 住宅用火災警報器の設置を

全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。この警報器は、火災が大きくなる前に音声や警報音で火災発生を早期に知らせ、生命・財産を守る防災機器です。設置していない方は早急に設置し、安心して暮らせる当別町を作りましょう。

## 支 庁 制 度

### 4月1日から「石狩支庁」は「石狩振興局」に名称が変わります

全道14の支庁は、北海道のこれからの地域づくりを担う総合出先機関として総合振興局、振興局に変わります。

今後も市町村と連携協力し、地域の課題に対応するとともに、より広域的な観点に立った効果的な地域振興、産業振興に取り組みます。

#### ▼総合振興局となる支庁

空知、後志、胆振、渡島、上川、宗谷、オホーツク（旧網走）、十勝、釧路

#### ▼振興局となる支庁

石狩、日高、檜山、留萌、根室

※支庁制度改革の取り組みの詳細は、北海道のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/cks/shichou/shichoutop.htm>

#### ▼問合せ

道庁総合政策部地域主権局

(☎ 011 - 204 - 5159)

## 納 税

### 3月は滞納整理 強調月間です

3月は滞納整理を強化します。町では、税金の未納者に対して文書、電話による催告や休日訪問徴収を実施します。それでも応じない滞納者には、滞納処分（給与・預貯金・不動産等の財産の差し押さえ）を実施しますので、直ちに納税をしてください。

#### ◆夜間納税相談

3月11日（木）・25日（木）

#### ▼問合せ 納税課納税係

(☎ 23 - 2341)

## 固 定 資 産

### 4月1日から縦覧できます 固定資産縦覧帳簿

納税者は、自分の資産の課税台帳を閲覧できるほか、縦覧帳簿により、その価格が適正かどうか、ほかと比較することができます。

▼対象 固定資産税の納税者または代理人（課税台帳は所有者本人か代理人が閲覧できます。）

▼持参する物 印鑑（代理人は委任状も必要）

▼縦覧期間 4月1日から6月30日まで（土・日曜、祝日は除く。）

▼時間 8時45分～17時15分

#### ▼縦覧場所・詳細

税務課資産税係 (☎ 23 - 2333)

## 水 道

### 引っ越しの前には忘れずに 水道の届け出をしましょう

引っ越しのときは、水道の届け出が必要です。届け出は電話でも受け付けておりますので、引っ越しが決まりましたら早めにご連絡願います。

水道を使用していなくても届け出がない場合は、水道料金・下水道使用料をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

○引っ越しの前には、凍結などの事故を防ぐため必ず全ての水抜きをお願いします。なお、上下水道課では特に申し出のあったとき以外は、止水栓にて水を止めておりません。

○最後の水道料金等の支払いを口座振替にする場合は、翌振替日まで口座を解約しないでください。

#### ▼問合せ

上下水道課 (☎ 22 - 2411)

## 歴 史

### 当別の歴史を紐解く 歴史ボランティアを募集

当別町歴史ボランティアは、当別の開拓以後の歴史について調査、伝承する活動をしている団体です。今年度は当別町歴史講座を8回シリーズで開催しているほか、会員同士で互いに学びあいながら活動しています。

みなさんも是非、一緒に活動しませんか。専門的な知識や経験は問いません。

▼活動内容 月1回の例会・歴史学習会・パネル展示会・視察研修など

▼会費 年1,000円

▼申込方法 3月26日（金）までに下記連絡先まで電話にてご連絡ください。

▼申込み・問合せ 町教委社会教育課（総合体育館内・☎ 22 - 3834）

## 町政功労者逝去

### ●末田 周治さん（青山）

1月30日逝去（87歳）

●経歴 当別町農業委員会委員として27年間に亘り町政発展のために寄与され、その任期中には当別町農業生産対策協議会委員などの役職も歴任されました。

ご冥福をお祈りします。

### ●神林 一郎さん（六軒町）

2月2日逝去（99歳）

●経歴 当別町農業委員会委員として15年間に亘り町政発展のために寄与され、その任期中には当別町広報委員会委員などの役職も歴任されました。

ご冥福をお祈りします。

## 子育て

### 参加しませんか ちびっこお楽しみ交流会

幼児向けの楽しい人形劇を行います。また、町内の子育てサークルの活動紹介や子育てに関する情報交換などがありますので、ぜひご参加ください。参加無料です。

▼日時 3月11日(木)

10時～11時30分

▼会場

白樺コミュニティーセンター

▼対象 町内の小学校入学前のお子さん・お父さん・お母さん

▼内容 人形劇「かばさんのおくりもの」「がらくたさーかす」「うたのかげえ」他

▼共催 3才児にこにこ教室

1,2才児にこにこクラブ 当別町教育委員会他

▼問合せ 町教委社会教育課

(白樺コミセン内・☎23-2511)

## 福祉

### 4月から肝機能障害による 身体障害者手帳が交付されます

▼対象者 認定基準に該当する肝機能障害のある方。

※認定基準は、肝機能障害の重症度分類である Child-Push 分類によって判定します。3か月以上グレードCに該当する方が概ね身体障害者手帳の交付対象となります。ただし、診断前の6か月間にアルコールを摂取している方等は対象とはなりません。

▼申請方法 申請書、診断書、写真(縦4cm横3cm)を下記窓口へ提出してください。

▼問合せ 福祉課障がいサービス係  
(ゆとろ内・☎25-2665)

## 福祉

### 該当する方は申請を 障がいのある方の各種手当

身体、精神、知的障がいがある方に対して補助金を支給しています。所得による制限がありますので、詳細はお問い合わせください。

#### ①特別児童扶養手当

◆受給資格 身体や知的に一定以上の障がいのある児童の父もしくは母または養育者

◆支給額 (児童一人につき・月額)

1級(重度) 50,750円

2級(中度) 33,800円

#### ②特別障害者手当・障害児福祉手当

◆受給資格

・特別障害者手当 身体や精神、知的に著しく重度の障がいがある20歳以上の方

・障害児福祉手当 身体や精神、知的に著しく重度の障がいがある20歳未満の方

※施設に入所中の方、公的年金を受給している方には支給されません。

◆支給額(月額)

特別障害者手当 26,440円

障害児福祉手当 14,380円

▼問合せ 福祉課障がいサービス係

(ゆとろ内・☎25-2665)



## 福祉

### 一定要件の該当者に支給されます 児童扶養手当

▼対象 離婚などで父親と生計を共にしていない児童(18歳に達した年の年度末まで。心身障がい児は20歳未満)を養育している母子家庭などの方。(家庭状況により請求できない場合もあります。)

※一定以上の所得のある方(同居している親族等を含む)は手当の全部、または一部が支給停止になる場合があります。

▼申請方法 申請用紙を福祉係窓口を用意しています。詳細はお問い合わせください。

▼問合せ 福祉課福祉係

(ゆとろ内・☎23-3019)



## 福祉

### 国立北海道障害者職業能力 開発校 生徒募集

国立北海道障害者職業能力開発校では、求職中の障がい者を対象に就労に必要な知識や技能を習得して自立を目指す職業訓練施設です。

平成22年度の入校生を定員に達するまで追加募集しています。応募方法などの詳細は、本校までお問い合わせください。

▼問合せ 同校(☎0125-52-2774) 砂川市焼山60番地

## がん検診

しっかり受診しましょう  
各種がん検診

胃・肺・大腸がん検診は毎年、子宮・乳がん検診は2年に1度受けることができます。

受診を希望する方は、事前にお申し込みください。

### ①センター検診

集合場所からバスで北海道対がん協会札幌検診センターへ送迎します。

◆対象 胃がん35歳～、肺・大腸・乳がん40歳～、子宮がん20歳～、骨粗しょう症30歳～59歳(女性)

◆日程 4月19日(月)

集合時間 7時55分～8時10分

◆集合場所 ゆとろ

### ②個別検診

都合の良い日に個人で北海道対がん協会札幌検診センター(札幌市東区北26条東14丁目)にて受診できます。

**子宮がん・乳がん検診無料クーポン券をお持ちの方へ**

無料クーポン券の有効期限は、3月31日までです。クーポン券を紛失した場合は再発行できませんので、ご連絡ください。

### ▼問合せ

福祉課保健サービス係  
(ゆとろ内・☎23-2346)

## JR石狩当別駅で車両の 夜間停車を行います

学園都市線電化に向けた工事のため、20時から翌日5時頃の間、JR石狩当別駅でエンジンをかけた状態で車両が停車します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

▼期間 3月15日～12月14日

▼問合せ JR石狩当別駅  
(☎23-2124)

## 予防接種

忘れずに接種しましょう  
予防接種

### ①DPT

(ジフテリア・破傷風・百日咳)

#### ◆対象

#### ○1期初回

生後3か月～7歳6か月(3回)

○1期初回接種終了後6か月以上あけて(1回)

### ②DT(ジフテリア・破傷風)

◆対象 11歳～13歳未満(1回)

※乳幼児期に受けた「DPT(3種混合)」の追加免疫を得るために受ける必要があります。

### ③麻しん(はしか)・風しん

◆対象(平成21年度):各期1回

1期 生後12か月～24か月未満

2期 小学校就学前の方

3期 中学1年に相当する方

4期 高校3年生に相当する方

※2、3、4期の方は3月31日までが接種期間となっていますので、忘れずに接種しましょう。

▼持ち物 母子健康手帳、予診票(麻しん風しん3・4期の方のみ)

※3・4期対象の方には予診票を、平成21年3月末に個別に送付しています。紛失された方は、ご連絡ください。

▼接種場所 健康ひろば「町内委託医療機関」に掲載。

※事前予約が必要

### ▼問合せ

福祉課保健サービス係  
(ゆとろ内・☎23-2346)



## あそびのひろば ☆3月の日程☆

時間は全て10時から11時30分

### ▼こりす・うさぎ(1歳6か月～就学前)

会場 ゆとろ(全て火曜日)

2日・9日・16日・23日

### ▼キャロット(1歳6か月～就学前)

会場 ふとみ保育所(全て水曜日)

3日・10日・17日・24日

### ▼ミニマトクラブ(乳児支援)

11日(木) ゆとろ

25日(木) ふとみ保育所

両日保健師が参加します。

### ▼サロン(0歳～就学前対象)

わんぱくサロン(子どもハウス)

毎週月・水曜日

※22日は祝日のためはお休みです。

すみれサロン(ふとみ保育所)

毎週金曜日

### ▼詳細・問合せ 子育て支援係

(ゆとろ内・☎25-2658)

## 保健

### 新型インフルエンザワクチン 接種費用免除について

町民税非課税世帯および生活保護受給世帯の方に新型インフルエンザワクチン接種費用の免除を行っています。また、費用免除の手続きを行わずに医療機関窓口で費用を自己負担された方に対して払い戻しをしています。

▼申請期間 3月31日迄

### ▼必要な持ち物

- ・新型インフルエンザ予防接種済証
- ・医療機関が発行する領収証
- ・振込先を確認できるもの(通帳など)
- ・印鑑

▼問合せ 福祉課保健サービス係  
(ゆとろ内・☎23-2346)



## 第3回 当別町ふくしのまちづくり勉強会

近年、発達障がい者への支援が進められている中で、各地域、各年齢期での現状・課題を共有することで新たな取り組みを考えようと勉強会を実施します。

▼日時 3月27日(土) 午後1時～午後5時30分

▼会場 ゆとろ

▼イベントタイトル

「みんなに知ってほしい。ちょっと気になること。発達しようがいつてなあに？」

青森・大阪・滋賀・鹿児島のゆかいな取り組みから

▼問合せ

NPO 法人当別町青少年活動センターゆうゆう 24

(☎ 22 - 2896)



## 体育指導委員を募集します

町教委では、町民へのスポーツに関する指導やスポーツ組織の育成、スポーツイベントへの協力などスポーツコーディネーターとして活躍していただく『当別町体育指導委員』を募集します。



▼募集員数 13名

▼任期 5月1日～平成24年4月30日

▼任務 町民のスポーツ振興、スポーツについて理解を深めてもらうことを目的に各種スポーツの実技指導やその他スポーツに関する指導及び助言など。

▼申込方法 総合体育館に備え付けの応募用紙に必要事項を明記の上、提出してください。

▼応募締切 3月23日(火)

▼申込み・問合せ 社会教育課スポーツ振興係(総合体育館内・☎ 22 - 3833)

## ○●(年)金○● 読んで得する年金・国保のお話 ○●(国)保○●

### 【国民年金の70歳までの任意加入について】

国民年金は20歳から60歳までの40年間加入することになっており、納付と免除期間等を合わせて25年以上ある場合に年金を受給することができます。

期間が不足している方は60歳から65歳までの間に任意加入することができ、さらに不足している場合には、70歳までの受給権がつくまで最長5年間任意加入ができます。60歳以降任意加入後の年金保険料の支払いは、原則として口座振替になります。手続きの際は、預金通帳及び口座届け印をご持参ください。なお加入日は手続きの日となります。

#### ■役場窓口年金相談日

3月8日(月)・23日(火)〈戸籍年金係窓口〉

#### ■年金保険相談所の開設

主催 札幌北年金事務所

日時 3月19日(金)10時～15時

場所 商工会館(錦町)

※年金保険相談は待ち時間短縮のため、1月から「予約制」になりました。ご相談される方は、札幌北年金事務所(☎ 011 - 717 - 4133)までお電話願います。

### 【3月は平成21年度最後の納期、第9期です】

納め忘れや口座振替を行っている預金に残高不足が生じないようにお願いします。また、納税が困難な方に納税課納税係で納税相談を行っています。

納税相談が無いまま未納にしていた場合は、保険証の有効期限が3か月の短期被保険者証の交付や保険給付が受けられない資格証明書が交付されることになりますので、ご注意ください。

#### 【高齢受給者証を送ります】

国保に加入されている70歳以上の方で、医療機関などの窓口負担割合が1割の方は、4月以降も引き続き1割負担となります。

現在交付している受給者証の有効期限は、3月31日となっていますので、新しい受給者証を送付します。発送時期は、3月下旬を予定しています。

#### ▼国保・後期高齢者医療についての問合せは

住民課国保・後期高齢者医療係(☎ 23 - 2467)

#### ▼年金についての問合せは

住民課戸籍年金係(☎ 23 - 2463)

保健所

高次脳機能障害普及啓発講演会を開催します

高次脳機能障害は、交通事故やケガ、脳の病気などで脳に損傷を受けたことにより日常生活に支障をきたす様々な症状がみられます。今回は、この障害を理解し、対処方法について理解を深めようと研修会を開催します。(申込不要)

▼日時 3月10日 14時～16時

▼講演内容

高次脳機能障害の世界

～リハビリや暮らしのこと～

講師 北海道大学病院リハビリテーション部 堀 享一 氏

▼会場

江別市総合社会福祉センター  
(江別市錦町 14 - 87)

▼問合せ 江別保健所精神保健福祉係 (☎ 011 - 383 - 2111)

当別町 140 年記念 森泰人 トリオ&マリア・リランデル トーク&ライブ

スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部が主催、スウェーデン大使館の後援、スウェーデン交流センターの協力により、スウェーデンで活躍中の日本人コントラバス奏者・森泰人のトリオとスウェーデンの若き歌姫のライブを開催します。

▼日時 4月3日(土)

14時～(開演 13時 30分)

▼会場 スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部「レクサンド」

▼チケット 前売り 2,000 円

当日 2,500 円(同行する小学生以下のお子様は無料)ドリンク付。同ゴルフ倶楽部、ふれあい倉庫にて販売

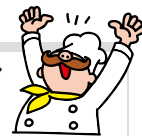
▼企画 とうべつ生聞音楽クラブ

▼問合せ スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部 (☎ 26 - 2321)

地域オープンサロン

1日コックさん

今月の出店者・メニュー



☆ 5(金) ババキッチン 21

ポテトコロッケ定食 500 円

☆ 9(火)・16(火) ささえ隊

エビフライカレー 600 円

☆ 10(水)町食生活改善協議会

温スープ de ランチ 500 円

☆ 17(水) レストランテボナペッ

ティへようこそ 700 円

マダムおきらくどう

☆ 24(水) 北栄町そば食べ隊

北栄町そばランチ 600 円

☆ 25(木) 熊坂貴子さん

ヘルシーベジランチ 550 円

☆ 31(水)北海道医療大学家庭科研究会

春のカルボナーラセット 500 円

▼詳細 共生型地域オープンサロン  
(☎ 22 - 0775)

広 告



## 相談

**法律相談** 町の顧問弁護士が、皆様の相談に応じます。

▼日時 3月4日(木)  
4月1日(木)  
13時30分～

▼申込み 福祉係 (☎23-3019)

**介護相談** 介護や高齢者虐待に関する相談に応じます。

▼日時 月～金曜日  
8時45分～17時15分

▼申込み 地域包括支援センター  
(☎25-5152)

### 心配ごと相談

心配や悩み相談を受け付けます。  
(毎月第4木曜日)

▼日時 2月25日  
13時～16時

▼申込み 社会福祉協議会  
(☎22-2301)

**消費生活相談** 契約トラブルや消費生活に関する相談に応じます。

▼日時 月～金曜日  
8時45分～15時

▼場所 町民生活係窓口(役場1階)  
(☎23-3209)

## 寄付

### ☆当別町社会福祉協議会へ

▼安榮静枝さん 10万円

▼神林明美さんより 10万円

▼全久寺婦人会一同 10万円

▼小山和子さんより 5万円

▼浪岡ハギノさんより 3万円

▼田畑優子さんより 3万円

▼アカシヤ交通安全より 25,334円

▼鹿島・竹中土木・岩倉JVより  
20,400円

▼松木久仁さんより手作り人形110個

### ☆まちづくり基金へ

▼田中芳雄さんより 3万円

▼匿名の方より 1万円

## 交通安全情報

### 通りなれた道路でも油断は禁物!

通りなれた道路は、交通状況等を知っているため、警戒心を欠いて油断が生まれます。常に警戒心を持って安全運転を!!

(平成22年1月末の交通事故累計)

	H22年	H21年	増減数
発生件数	1	6	-5
死者数	0	0	0
傷者数	1	7	-6

### ■人の動き 2月1日現在 ( )は前月との比較

人口	18,870人	(7人増)
世帯	7,762世帯	(4世帯増)
男	9,204人	(4人増)
女	9,666人	(3人増)

### ◎自衛隊幹部候補生募集◎ 平和を、仕事にする。

採用区分	一般・技術	歯科・薬剤
応募資格	・20～26歳(22歳未満の方は大卒(見込含)) ・大学修士学位取得者(海上技術幹部候補生志願者は理工学修士学位取得者に限る) および自衛官は28歳未満。	・専門の大卒(見込含)20歳～30歳の方(薬剤は20歳～26歳の方(薬学修士学位取得者は28歳未満)
受付期間	4月1日(木)～5月10日(月) 必着	
試験日	1次試験 5月15・16日(土・日) ※16日は飛行要員のみ 2次、3次試験あり ※3次は飛行要員のみ	
▼詳細	自衛隊札幌地方協力本部江別地域事務所 (☎011-383-8955) 役場環境生活課町民生活係 (☎23-3209)	

# 広告

HOT

コミュニケーション

### 支え合い 除雪ボランティア



2月になり、積雪が多い状況になったことから当別高校、北海道医療大学の学生ボランティア、自衛隊当別分屯基地の隊員が除雪ボランティアを行いました。

町内で一人暮らしの高齢者宅を除雪し、窓を覆っていた雪をよけたことで、窓から日が入るようになりました。 (2月10日)

### 冬の太公望



札幌大橋の西側にあるビトエ中島の三日月湖(旧石狩川)では例年ワカサギ釣りの光景が見られます。この日は寒さも緩み、正午頃には30名程の釣り人が氷に穴を開け釣り糸をたらしていました。

10時から来ているご夫婦は2時間で20匹を釣り上げていました。「特に難しいことはないよ。待っているうちにかかるさ。」ということでしたが、暖くなるにつれて収穫は減るといいます。

楽しそうなワカサギ釣りですが、防寒と安全対策は怠りなく！ (1月31日)

### 特別支援学級による作品展



当別中学校の特別支援学級(ときわ学級)の生徒による作品展がふれあい倉庫で開催されました。

今回は習字、絵画、オートバイの工作など40点の力作が展示されましたが、どれも力作で、色使い、筆のタッチなど強い感性と豊かな発想が感じられると来場者の関心を集めていました。

現在特別支援学級は3人の在籍で、授業の中で制作した作品といえます。今後も年1回の発表会を楽しみに制作を続けていくといえます。

(2月16～21日)

# 広 告

21世紀 鮎田塾！



町の魅力を知って誇りを持つと  
と当別移住促進協議会が主催する  
鮎田塾が2月に2回開催されま  
した。第1回目のテーマは写真  
家の中島宏章氏が語る「当別町の  
自然」で、札幌の近郊ながら多様  
な動物が暮らしている様子を、太  
美地区の防風林を例にとって説明  
されました。

当別町の防風林は笹が少ないこ  
とから多様な植物が繁茂し、それ  
に伴い5種類のコウモリ、モモ  
ンガなど付近の住民にも知られて  
いない貴重な動物の楽園であると  
の話に、参加者は自然のたくまし  
さを感じていました。(2月5日)

通年雇用啓発セミナー



季節労働者の通年雇用化を目指  
すセミナーが商工会館で開催され  
ました。江別市、当別町、新篠津  
村で構成する通年雇用促進支援協  
議会の主催で、札幌北公共職業安  
定所と人材派遣会社キャリアバン  
クの担当者が講師を務めました。

午前中には通年雇用を行う事業  
所に対して国の助成制度や事例を  
紹介するセミナーがあり、午後か  
らは季節労働者を対象にした通年  
雇用(再就職)に向けてのアドバ  
イス等がありました。

参加者は履歴書の書き方、面接  
のポイントなどを再確認していま  
した。(2月9日)



# 告 白

# 健康ひろば 3月の予定

## 各種健診

健診名	受付日時 / 場所	対象・内容	
乳幼児	4か月・10か月児健診	5 金 13:00～14:00 ゆとろ	個別通知 しています
	1歳8か月・3歳児健診	12 金 13:00～14:00 ゆとろ	
各種検診	センター検診	3 水 7:55～8:10 ゆとろ	バスで札幌検診センターへ行きます
	肝炎ウイルス検診	町内委託医療機関 で随時実施 予約の上、受診ください	B・C型肝炎ウイルス検査
	後期高齢者健診		75歳以上の方
	特定健診		40～75歳未満の方

※特定健診は、江別市立病院、北海道医療大学病院（あいの里）でも受診できます。

## 予防接種

種類	受付日時 / 場所	対象
BCG 予防接種	5 金 14:00～14:30 ゆとろ	生後6か月未満の乳児
DPT、DT、麻疹風疹混合ワクチン	随時個人で接種可。右記医療機関へ予約の上、母子健康手帳を持って受診ください。	

- 各種健診・予防接種についての詳細・申込み  
福祉課保健サービス係（ゆとろ内・☎23-2346）
- 特定健診・後期高齢者健診についての詳細・申込み  
住民課国保・後期高齢者医療係（☎23-4044）

## つどい

事前申し込みが必要です

つどい名	日時 / 場所	対象
友遊会 (当別地区)	15 月 10:00～12:00 ゆとろ	高齢の方で外出の機会が少なくなっている方
かすみ草の集い (西当別地区)	16 火 10:30～14:30 西コミ	
断酒会	第1・第3月曜 18:00～21:00 ゆとろ	お酒で悩んでいる方・家族
身体障害者カラオケの会	9 火 13:00～17:00 ゆとろ	障害者の方どなたでも

- ▼申込み 友遊会・かすみ草の集い  
保健サービス係（☎23-2346）
- 断酒会 日中（江別保健所・☎011-383-2111）  
夜間（工藤・☎22-2510）
- 身体障害者カラオケの会 社会福祉協議会  
（ゆとろ内・☎22-2301）

## 各種相談

相談名	日時 / 会場 / 申込み等
健康相談	24 水 9:30～11:30 会場 / ゆとろ 申込み / 保健サービス係
心の健康相談 【心の悩みについて て専門医が相談】	18 木 13:30～16:00 会場・申込み 江別保健所 （☎011-383-2111）

## 町内委託医療機関

肝炎ウイルス検診、特定健診、  
後期高齢者健診は全ての医療機関で実施

医療機関名	電話番号	予防接種
勤医協当別診療所	23-3010	○
近藤医院	23-2021	○
さわぎき医院	25-2055	○
スウェーデン通り内科 循環器科クリニック	25-3151	○
とうべつ内科クリニック	22-1313	
堀江病院	22-3111	
北海道医療大学 歯科内科クリニック	23-1604	

# 広 告

## 急病当番医（内科系）

- ◆ 平日 19時～21時
- ◆ **土曜** 14時～17時
- ◆ **日曜・祝日** 9時～12時・14時～17時

日	月	火	水	木	金	土
	1 堀江	2 スウェーデン	3 さわぎ	4 とうべつ	5 近藤	6 堀江
7 堀江	8 堀江	9 堀江	10 勤医協	11 さわぎ	12 とうべつ	13 近藤
14 堀江	15 堀江	16 堀江	17 堀江	18 勤医協	19 スウェーデン	20 とうべつ
21 近藤	22 堀江	23 堀江	24 堀江	25 堀江	26 勤医協	27 スウェーデン
28 さわぎ	29 近藤	30 堀江	31 堀江	4/1 堀江	2 勤医協	3 堀江
4 とうべつ	5 さわぎ	6 堀江	7 近藤	8 スウェーデン	9 堀江	10 堀江
11 堀江	12 とうべつ	13 さわぎ	14 堀江	15 近藤	16 スウェーデン	17 勤医協

### ■江別市夜間急病センター（江別市錦町14番地5）

内科・小児科の急病の方の診察をします。  
 応急対応をします。薬は1日分の処方です。  
**受付時間** 19時～翌朝6時30分（年中無休）  
**☎** 011 - 391 - 0022

### ■北海道救急医療情報システム

受診可能な病院を検索できます。  
**☎** 0120 - 20 - 8699  
**☎** 011 - 221 - 8699（携帯電話から）  
 FAX 011 - 272 - 8699  
 URL <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>

### 【4月の予定】

8	木	ポリオ	ゆとろ	13:00～13:30
9	金	ポリオ	西コミ	13:00～13:30



いきいき  
健康生活

### 目指せ親子できれいな歯

平成20年度に3歳児健診を受けた方の中で、下記の推薦基準を満たした親子を、「親と子のよい歯のコンクール」に推薦しました。その結果、昨年7月に行われた北海道大会で当別町の中谷一さんと晃真君親子が優秀賞



となりました。中谷さん親子の生活をみると、

- ① 1日2回以上、食後に歯をみがいている。
  - ② お父さん、お子さんとも定期的に歯科健診を受け、お子さんはフッ素塗布も受けている。
  - ③ お子さんの間食は時間を決めるようにし、甘い物も食べるができるだけ牛乳や果物にしている。など、歯に良い習慣が身につけていました。
- 今年も下記の親子を対象者に「親と子のよい歯のコンクール」に推薦します。

▼**対象者** 3歳児健診を受診した幼児とその親（平成21年4月～平成22年3月）

▼**推薦基準** ①むし歯がない ②歯並び、かみ合わせに異常がない③歯、口腔清掃状況が良好

▼**申込み** 4月30日（金）まで

審査票をお送りします。町内での書類審査の結果、入選者を江別保健所での第1次選考へ推薦します。

▼**詳細** 福祉課保健サービス係  
 （ゆとろ内・☎23 - 2346）

# 広 告

# Town Topics

タウン トピックス

まちの話題

広報誌で紹介した写真または  
データを希望者に提供します。  
お申し込み  
情報課広報広聴係 (Tel.23-3069)



## スキー授業でボランティア

1月中旬～2月下旬 石狩平原スキー場

町教育委員会では、学校の取り組みを地域全体で支援をしようと学校支援ボランティアの取り組みを進めています。

今回は、町内小中学校でのスキー学習で池内芳美さん、川端勝人さん、原田栄子さんの3名がボランティアでインストラクターを務めました。

日頃から当別スキー連盟や石狩平原スキースクールで指導をしている3名は、児童生徒にスキーの基本である体重のかけ方やスピードコントロールの方法を教え、一緒に滑ることでスキーの楽しさを伝えました。

## 「悔しさをバネに」福島選手の講演

2月20日 白樺コミュニティセンター

当別町体育協会の創立50周年を記念した講演会が行われました。

前回北京五輪の陸上女子100m代表選手の福島千里選手の講演では「中学、高校生の大会ではいつも2位、その悔しさが今のエネルギーになっている。」との話があり、中村監督も「スポーツの指導には一貫性が大切。技術的なことより競技に向かう環境づくりに力を入れています。」と指導の奥義を披露しました。

今回のロンドン五輪や、その次のリオデジャネイロを目指している2人に会場から声援が送られました。



## コンマ1秒を競う アルペンスキー大会

2月13日 石狩平原スキー場

当別スキー連盟の主催により、第1回当別アルペンスキー大会が開催されました。

この大会は、昨年まで開催されていた当別町民スキー大会と当別ジュニアスキー大会が1つになり、今年から新しくスタートしました。45名の選手達は、アルペンスキーの大回転種目で難しいセットに苦戦をしながらも果敢にポールの内側を攻め、2本合計のタイムで勝敗を競いました。



編集・発行 当別町企画部情報課 広報「とうべつ」3月号 平成22年3月1日発行 通巻678号

ホームページ 町 <http://www.town.tobetsuhokkaido.jp/> 町教委 <http://www.town.tobetsuhokkaido.jp/chomin/kyouiku/>